



読字英原田 親

No. 639

2011/6/5

# 日中友好新聞

発行所  
日本中国友好協会  
〒113-0045 東京都千代田区  
西船場1-1-1 東1号ビル3階

日中友好協会  
岡山支部  
〒700-8256  
岡山市東区3-8-30 511  
TEL:0861272-3010  
郵便番号11所  
01250-0-3835

日中友好協会  
倉敷支部  
〒713-8011  
倉敷市連島中央1-8-1  
(宮地方)  
TEL/FAX:0860446-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ  
http://rizhong.web.infoseek.co.jp  
メールアドレス  
rizhong86@hotmail.co.jp



## 大盛況だった漫画展で

## 多数のアンケート

県下4カ所で行われた漫画展、各会場とも多数のアンケートが寄せられています。

岡山市役所ロビー会場と高島公民館会場のアンケート結果がまとめられました。

日時:4月27日~28日

場所:岡山市役所ロビー

男性 **31人**

20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代 90代

1人 2人 3人 2人 11人 8人 4人

女性 **40人**

2人 4人 5人 3人 9人 14人 2人 1人

日時:4月30日~5月2日

場所:高島公民館ロビー

男性 **11人**

10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代

1人 3人 2人 5人

女性 **14人**

2人 2人 1人 3人 4人 2人



漫画展でアンケートに記入している人々

## すいせん図書

### 『漢字が日本語をほろぼす』

出たばかりの新書版 800円＋、271ページですが、とにかくおもしろい、タメになる本です。

第一章 日本語という運命

第二章 日本語人論

第三章 漢字についての文明的考察

第四章 脱亜入欧から脱漢入亜へ



竹内和夫

### ボランティアを終えて

長原光宏

3月11日、M9.0を記録した大地震と、それに続く大津波が東北地方を襲った。多くの尊い命が失われ、沿岸部の街は壊滅的な被害を受けた。テレビを通して映し出されるその光景は、にわかには信じ難い程のものであった。その後、徐々に浮き彫りになる被害の状況をただ見守るだけではいられず、現地にボランティアとして赴くことにした。

3月下旬から宮城県石巻市と気仙沼市小泉浜地区に計2週間ほど、家屋の瓦礫撤去などの手伝いをさせて頂いた。そこは見渡す限りの瓦礫と廃墟。形容する言葉もないほどの凄まじさ。繰り返される激しく長い余震。同じ日本とは思えぬような雰囲気包まれていた。全ての生活が流され、電気の光もなく、静かすぎる夜に、その被害の大きさを感ずる一方で、自分が生きていられることに感謝の気持ちを持った。現状を見た限り、復興にはどれほどの年月が必要か見当がつかない。今、現地住民だけでなく、国民全体が力を合わせ、この困難とも言える危機を乗り越えなければならぬ時である。

### あしがれの香格里拉(シヤングリラ)

真田紀子

五日目、いよいよシヤングリラ(香格里拉)へ出発です。その途中で、玉龍雪山と哈巴雪山の間を流れる金沙江(長江の支流)にある長さ約15kmの大峽谷をハイキングです。兩岸の幅は狭いところで30mしかないため、非常に急流になり、虎が向こう岸へ飛び越したという伝説から虎跳峽という名がついていますが、高低差はないのですが、石畳とコンクリートの道を、片道40分近くかけて歩きます。これが結構腰にきて、足が痛くなります。入り口のところに、人力車が待っていて、途中まで運

んでくれますが、もちろん有料です。がんばって歩きました。写真にもあるように、道は一方の崖をダイナマイトか何かで削り、舗装しているわけです。頭上に岩がせり出しているような危険な場所には、監視員がいました。後で調べてみると、虎跳峽にはダム建設計画があったが、世界遺産に登録された三江併流の保護地域にあることや、観光資源・文化資源の水没も問題となっていた。この計画は2007年に破棄されている。”と説明があった。

東日本大震災のボランティアとして参加した感想を、寄稿していただきました。長原光宏さんは中国語講座の受講生で馬小菲講師のクラスの生徒さんです。



# 入社して三年目・私の中の何が？

何 曉麗



これまで日中岡山支部の中国語講座や中国 残留日本人孤児「訴訟の通訳などを務めていた、何曉麗さんから、倉敷の会社に就職してからの仕事ぶりや考え方の変化について寄稿してもらいました。

## これは中国語？

今の会社に正式に就職したのは二〇〇九年四月ですが、二〇〇八年八月からアルバイトという形で働いていました。一カ月後リーマンショックが発生し、その冷え込んだ空気をなんとなく感じました。こんな時期こそ、絶対ミスをしてはいけない」と心がけたのに、ミスばかりでした。資料の印刷がうまくいかない、電話が聞き取れない、簡単なことが言われてもすぐ反応できない。そればかりか、Excelの計算式を全く知らない、簡単な英語すらわからない。かと言って得意な中国語は大丈夫だろうと言いたいところですが、聞いたことも見たこともない専門用語を睨んで「これは中国語?」「との日々でした。おまけに、先輩と折り合いが悪い時期でもありました。

## 仕事に集中

今さら、会社に入るとはやっぱり、どうかな、と情けなく感

じました。そして、会社に行くのもいやになりました。しかし、不思議なことに、会社の席に着くと、仕事だけを考えてしまいます。言われる前に、今日のすべきことを自分から進んでやる、任されたことをミスなく仕上げよう、今度こそ先輩に指摘されずに書類の承認欄に上司の捺印をゲットしよう。そして、仕事のない時、上司に勧められた本を手にとって読むこと、上司や先輩に聞いたりして、仕事以外のことを考える余裕がありませんでした。

## 生き方を見直す

このようにして、少しずつ成長し、たくましくなってきたと感じます。ちよつと指摘されてすぐ暗い顔（プライドが傷つけられた気+α）になる私から、なるほど、そつちのほうがいいですね。すぐやり直します！「と素直に指摘を受け入れる私に変わりました。この変化は大きいです。というのは、今まで変な高いプライドを持っていたからです。そして、何より失敗を恐れなくなりしました。失敗がいやだから、失敗しそうなことを避けよう」という今までの生き方を見直ししました。やってもないのに、失敗が怖いんだ！「というより、やってみて失敗したら、やり直せばいいんだ！「と、失敗か

らいろいろ勉強しようという姿勢に変えました。（勿論、まず失敗しないように頑張らなくてははいけません。どつちと言つても失敗は痛いものですから。）

## 母の説教

そして、入社して三年目の今、自分の関心のある仕事も少しずつ任せられ、新しいことを勉強しながらそれなり順調に仕事をしています。会社の全体的な人間関係が良いので、人間関係で悩むことはありません。折り合いが悪い先輩のことが気になるりますね（笑）。実はこの先輩と今お互いに助け合っているコンビとなっています。勿論、私はいつも助けられるほうですが、自分のできる限り、先輩のサポートで頑張っています。仲良くなつた理由は三つあります。一

## 東日本大震災に思う

つは上司の斡旋と周りの支えです。もう一つは母の、二人は、あなたの足りない所やいけない部分を教えてくれる、あなたを成長させるありがたい存在ではないか、感謝しなくてはいいよ。との説教です。そして、最も重要なのは、先輩と私はお互いの立場を考え、理解しようという努力ではないかと思えます。

やっとすべてが順調になってほつとしようというところ、東日本大震災が発生しました。（この場をお借りして、謹んで一言お見舞いを申し上げます。リーマンショックと同様、うちの業界も影響されています。

このたびも、少し考えました。仕事をなんとなく進めていますが、その なんとなくの部分をもう少し努力してクリアできないか。二年前立てた目標は目標のまままだ進んでないではないか。そう言えば、例の先輩はこの前確かに 何さんの日本語は今いちですわね」と何気なく言ってくれました。今はチャンスかもしれません。

## 台湾旅行 ①

谷川

日中岡山支部、中国語講座の中級、火曜日のクラス(担当講師は馬小菲さんです)の谷川さんから台湾旅行記を寄せていただきました。多少長いので、ぼつぼつ掲載させていただきます。

ある日、級友から、皆で台湾旅行へ行きませんか?と提案があった。しかし、仕事の都合で行けない方もいて、私を含め3人で台湾へ行くことになった。皆それぞれ行く目的が違った。故宮博物院を何時間も観ていたいという方や、温泉めぐりをしたい方、そして私は、今まで習ってきた中国語で、どこまで台湾の方とコミュニケーションがと



れるか試してみたいという目的があった。

桃園国際空港に着いた。

す。臨時休業もぼつぼつ出ている状況です。休業となるとそれなりに給料も減るわけですが、自分に本心を観照する余裕とスキルのレベルアップに時間を与えていることでもあると思われ

あいにくの雨で、僕が旅をするときは、いつも雨が降っていた。と、うっかり級友に口を滑らしたため、Guohuan(谷川)は、雨男だ!とあれこれ言われた。あたかも批難されているような気がして耳を塞ぎたい気持ちになったが、機内の気圧変化でずつと耳が聞こえにくい状態だったので、丁度よかった。バスに乗る前に級友はいち早く両替を済ませてバスに乗り込もうとしていたので、私も急いで走つて両替所に引き返し3万円を両替し、息を切らせてバスに乗ったら点呼が始まっています、ギリギリセーフで出発に間に合った。阪急交通社の現地ガイドは手数料無料で両替してくれ、しかも小額からでもOKだと後で知り、全身の力が抜けてしまった。4泊のツアーなら、とりあえず2万円を両替するだけで充分だと後で思った。

最初の観光先はキウフンだった。レトロな雰囲気がい、どこか懐かしい感じがするところだった。千と千尋の神隠しのモデルとなった館もカメラに収めた。ガイドさんの話に耳を傾けるが、「顔なし」って何?」「沢山聞きなれない固有名詞が出てきて、ふんふんと頷くのみだった。

次回の新聞送付作業は6月13日(月)午後1時半、民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

吹井林 和袈  
貝河小竹 竹坪三